

主催：日本薬剤師会

日時：平成21年10月11日(日)・12日(月)

会場：びわ湖ホール、大津プリンスホテル

テーマ：薬剤師新時代の鼓動 ～マザーレイクからの発信～

発表：「外来服薬支援ポスターの作成と効果の検証～より良い在宅医療をめざして～」

静岡県薬剤師会介護保険委員

会

### 【報告】

平成21年10月11・12日の両日、滋賀県大津市のびわ湖ホール他6会場にて開催された「第42回日本薬剤師会学術大会」にて、ポスター発表させていただきました。例年参加人数も多くなっているとの事で、全国各地から9,400名を超える参加があったそうです。

昨年の大会に比べ、在宅分野の発表も多かったように思われ、在宅分野への関心の高まりを感じました。静岡県内でも報告ありましたが、「医師に同行しての在宅訪問服薬指導実践」、「ケアマネージャーとしての視点での報告」、「居宅療養管理指導の実際」、「施設への服薬アンケート」など報告も多岐にわたりました。当委員会の報告は、まさに「連携」をテーマとし情報発信した活動のまとめであり、特徴ある報告ができたと思います。出された質問意見では、

- ・ 全国比較を知りたい
- ・ 外来服薬支援を算定した薬局のポスター掲示率は？
- ・ 複数回算定しているケースはあったか？  
認知症など一回で改善につながらないケースなどで複数回算定するケースはありえる。  
医師に照会しても、次回「一包化指示」がです、再度外来服薬支援を算定したケース
- ・ 一人の患者に何回算定したか？（上記と類似質問）
- ・ 連携の取っ掛かりとして良いと思う。
- ・ 算定事例を知りたい  
「外来服薬支援」業務にターゲットをしばっていないので事例把握していません。「抗凝血薬抜き」、「複数医療機関を合体一包化」、「退院時ヒートで薬局持込ケース」などについて説明しました。

先日宮城でお会いした徳島文理大学薬学部 中田先生もご報告されていましたが、「薬業連携」、「退院時共同指導」、「ケアカンファレンス」など、今後進めるべき課題も多く感じた学術大会でした。参加させていただき大変ありがとうございました。

